

# Osaka Metro まちさんぽ

横堤駅

90分  
コース

長堀鶴見緑地線 横堤駅

寝屋川と古川がもたらした農村地帯

## 北河内の川沿いに古街道を歩く

古代、生駒山麓まで広がっていた河内湖は、やがて淀川と大和川が運ぶ土砂で狭くなって  
深野池と新開池というふたつの大きな池になりました。

周囲にはいくつもの川が集まり、大和川付け替え後は両池が新田に変わり、  
多くの井路川が掘られました。

寝屋川と古川、どちらも北河内の田畑をうるおした母なる川です。



スタート駅	1	2	3	4	5	6	7	8	9	ゴール駅
横堤駅 ②号出口 長堀鶴見緑地線	八幡宮・横堤村	八幡神社・諸口村	古堤街道	寝屋川	比枝神社	枝切街道(小坂街道)	徳庵村・徳庵神社	徳庵橋	中茶屋・浜	横堤駅 長堀鶴見緑地線

徳庵あたりは、むかしの新開池の西端にあたり、寝屋川、古川や数本の井路川が集まる水運の要衝になっていました。川堤に沿って大坂、奈良、京都を結ぶ古い街道が成立しました。寝屋川堤を古堤、古川堤を横堤と呼びます。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために  
 ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。  
 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

## 北河内の川沿いに古街道を歩く

古代、生駒山麓まで広がっていた河内湖は、やがて淀川と大和川が運ぶ土砂で狭くなって深野池ふかののいけと新開池しんかいのいけというふたつの大きな池になりました。周囲にはいくつもの川が集まり、大和川付け替え後は両池が新田に変わり、多くの井路川が掘られました。寝屋川と古川、どちらも北河内の田畑をうるおした母なる川です。

スタート駅

約 90 分

ゴール駅

## 長堀鶴見緑地線横堤駅②号出口

## 長堀鶴見緑地線横堤駅

## 1 八幡宮・横堤村

八幡宮は、延文5年(1360)に男山八幡宮の分霊をいただいた横堤村の氏神です。横堤村は古川の水で農地を耕した村で、鎌倉時代に出現したとみられています。

八幡宮の南側に八幡神社に向かって東西に走る道路は古堤街道の北ルートにあたりと推測されます。



## 2 八幡神社・諸口村

八幡神社は、延久4年(1072)に菅田八幡宮を勧請した諸口村の氏神です。古川右岸は水郷地帯で輪中集落を形成していました。古川と寝屋川、さらにいくつかの井路川が集まっていたので諸口という名前になったとされています。



付近の緑道も井路川の跡地で、鶴見区内にはこのような遊歩道が何か所もあります。

## 3 古堤街道

大坂と奈良を結ぶ大和街道のひとつで、京橋から寝屋川(あるいは鯉江川)に沿って東進して生駒山を越えました。川の土手を行く道と北側を回り込む道がありましたが、徳庵で合流しています。大坂から野崎観音詣に向かう参詣路でもあり、寝屋川を船でゆく者と土手を歩く者がおもしろく掛け合う上方落語が有名です。明治になって古堤街道と正式に命名されました。

## 4 寝屋川

寝屋川は、そもそも深野池・新開池へ北方から流れ込む河川でした。一方、新開池から流れ出た大量の水が、旧大和川の分流と合流して、蛇行して大規模な氾濫を発生させました。そこで明暦1年(1655)に新開池の西端にあたる徳庵から西へ今福までまっすぐな堀川が掘られました。これを徳庵井路といい、現在の寝屋川の一部になっています。寝屋川は大坂市中で大川に通じる北河内の主要河川で、水利水運に重要な役割を果たしましたが、豪雨による水害を何度も繰り返しました。



## 5 比伎神社



元禄4年(1691)に坂本の白吉大社の分霊を勧請しましたが、それ以前の年代で寄進された灯籠があります。諸口村の氏神です。境内の楠、榎など13本の樹木は大坂市の保存樹に指定されています。

## 6 枝切街道(小坂街道)



河内と摂津を結ぶ街道のひとつで、東大阪市の小坂から北へ、暗越奈良街道と交差し、徳庵で古堤街道と交わって、古川沿いに北へ上り、寝屋川市に向かいます。

## 7 徳庵村・徳庵神社

徳庵村は、寝屋川、古川の合流点で、この地にあった徳庵寺に由来すると伝えられています。このあたりは新開池の西端で、古代から沼地でしたが、開拓されて

から徳庵神社ができました。当初は神明社と呼ばれていましたが、昭和になって徳庵神社と改名されました。



## 8 徳庵橋



寝屋川に架かる橋で、いまでも東から六郷井路と五箇井路が合流しています。ポンプ場前の貯水池はそのむかしの新開池を想像させます。寝屋川の downstream すぐのところ、古川の合流点があります。

## 9 中茶屋・浜



中茶屋は古堤街道行程のほぼ中間地点にあたり、旅人が休憩する茶屋が点在していました。枝切街道と古堤街道との分岐点には、宝暦11年(1761)の「右ならみち・左京みち」の道標が残っています。枝切街道を北上すると浜へ出ます。浜は古川船運の要津で、枝切街道沿いに船問屋や船大工が多く集まっていたそうです。

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2020年6月時点のものです。内容は変更されている場合がありますのでご了承ください。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.info

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または  で検索

## ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

## ご案内

※駅スタンプは駅長室前に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

## 駅スタンプ押印欄